

職場巡視標準チェックリスト（点検項目）

チェック項目	(参考) チェックの視点
事務所の安全衛生環境	
1 室内の気積は適切か。	1人10㎡(立方m)以上の気積の確保
2 室内の温度調整機器は正常に作動するか。空調の適切化に努めているか。	
3 湯沸し室の換気設備及び燃焼器具に不具合はないか。	
4 室内の照明は暗くないか。また、照明器具の不具合はないか。	明るさにムラがないこと まぶしさがないこと
5 支障を感じる騒音及び振動はないか。	
6 トイレは男女別に必要数設置され、不潔感はないか。	男性用大便所 60人以内ごとに1個 男性用小便所 30人以内ごとに1個 女性用便所 20人以内ごとに1個
7 夜間勤務者に睡眠を与える必要のある場合等には、適当な睡眠の場所が男女別に設けられているか。	
8 職員が常時50人以上又は女性職員が常時30人以上いる場合、職員が臥床できる休養室が男女別に設置されているか。	
9 救急的な用具が整備され、職員に周知されているか。	
10 その他安全に関すること	
(1) 非常口の表示は見やすく取り付けられているか。非常口周辺に妨げとなるような物品等は置かれていないか。	
(2) 消火器は所定の位置に備えられているか。期限切れになっていないか。	
(3) 通路や階段は一定の幅が確保され、障害となる物品等は置かれていないか。	
(4) 通路や階段につまづき、すべり等の危険はないか。	
(5) 通路や階段の照明は十分か。	
(6) ロッカー等の転倒防止はされているか。	
(7) ロッカー等の上部に落下の危険のあるものは置かれていないか。	
(8) 電気配線の被覆やコンセントに損傷はないか。	
VDT 作業環境	
1 室内は、できるだけ明暗の対照が著しくなく、かつ、まぶしさを生じさせないようにしているか。	・画面が見にくい ・画面の角度調整 ・フードの取り付け等 (精密な作業：300ルクス以上、普通の作業：150ルクス以上、粗な作業：70ルクス以上)
2 作業者が自然で無理のない姿勢で作業できるよう、椅子・机等は総合的に調整可能か。	
3 作業面は、VDT作業に必要なものが適切に配置できる広さが確保されているか。	
4 作業時間は心身の負担が少ないように作業休止時間における疲労回復や小休止などの措置が適正にとられているか。	
その他	
1 職場での事故・けがは所属長に報告し、公務災害の手続きができる環境があるか。	
2 労働災害を防止する視点から問題はないか。	